

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
1. SIDS家族の会	26.乳児のSIDS死亡の防止 36.乳幼児期のうつぶせ寝の防止	26. SIDS国際会議参加 平成14年8月31日～9月4日 目的：SIDS研究および発生率低下のための取り組みおよび、発生後の家族のケアに関する世界の最新情報を得る。2006年国際会議の日本への招聘承認を得る。 効果：SIDSを取り巻く世界の動向を知ることができ、2006年の日本での国際会議開催についても承認を得ることができた。 講演会実施(大阪府、9月8日、50名参加) 目的：赤ちゃんを亡くした遺族の声を聞いてもらうことにより、SIDS発生後の遺族ケアおよびSIDSの発生率低下について認識を高める 遺族のためのミーティング開催目的：SIDSなどで赤ちゃんを亡くした家族の精神的サポートを行う参加人数：約500名開催数、方法：35回、各支部にて企画、開催北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、京都府、和歌山県で実施 効果、その他：近年、SIDS以外の死産、流産、周産期死亡の遺族の参加が増え、次の妊娠のためにも、赤ちゃんを亡くした悲しみを癒すケア活動の必要性を痛感する	26. オープンフォーラムの開催隔年開催のオープンフォーラム6回目、200名程度の参加を予定 遺族のためのミーティングを継続開催 医療機関に対するアンケートの実施SIDS等で赤ちゃんを亡くした親へのケア体制の有無等について、1000ヶ所程度の医療機関に対するアンケートを実施予定 36. 危険因子パンフレットの継続販売

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
2.(社福)恩賜財団 母子愛育会	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 3.愛育班員等研修会 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 5.専門里親養成教育の開催	1.目的・対象者及び参加人員 保健師に対し、母子保健に関する最新知識と今日的課題への対応及び保健指導技術を修得させる。自治体の保健師100名 栄養士に対し、乳幼児期の食生活・栄養に関わる知識・情報を提供し、栄養相談を展開するための技術を学ばせる。自治体勤務の栄養士30名 母子保健の課題と最新情報に関する講義、事例研究等により、専門指導員を育成する。自治体勤務の保健師・助産師・看護師等30名 医師、助産師及び看護師に対し、新生児・未熟児の診断・治療・看護等に関する最新の理論と技術を提供する。医師・助産師・看護師290名 臨床検査技師に対し、最新の技術と情報を提供し、技術者の資質を高める。先天性代謝異常症等検査技術者50名 2.目的～子ども家庭福祉に関する各種情報を幅広く関連機関職員や研究者等に提供する。 情報収集リスト～ 国の施策、審議会、懇談会等 虐待問題、里親問題等 病気・医療 健やか親子21関連 子育て支援 児童福祉施設・養護施設 障害児に関すること等Web版「愛育ネット」による情報提供～解説論文・行政情報及び統計情報専門図書資料の収集及び閲覧～蔵書数 約5千冊、文献資料 約1,500件 3.市町村の愛育班員及び各保健所の保健師を対象に、中央及び地方における指導者・講師の派遣及び研修会等の開催10回 4.育児不安の軽減を図るために、育児不安の関連要因を評定できるような質問紙を作成し、頒布した。 5.専門里親養成教育の開催～厚生労働省が平成14年度から導入した「専門里親」を養成するための理論と実践について教育する。100名	1.母子保健関係者に対する研修会・講習会の実施 実施内容及び対象範囲を再検討して実施する。 2.子ども家庭福祉情報等の提供事業 内容の充実を図り、実施する。 3.愛育班員等研修会 愛育班員の拡充と指導員の増員を図る。 4.子ども総研式・子育て支援質問紙の作成・頒布 設問内容を要望に添ったものに再検討し、作成する。 5.専門里親養成教育の開催 地方自治体からの要望に応じられるよう、関係方面と協議して実施する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
5. 子どもの心・体と環境を考える会	小児保健医療水準の維持・向上に関する学際的なエビデンスの集積	<p>研究会誌「子どもの健康科学」第3巻1号発行第3回学術大会の講演（「健康な学校」「何故、今、行動療法なのか」）およびシンポジウム（「子どもの健康と学校」「アレルギーと学校生活」）について、演者が論文化した研究会誌200部を発行、配布した。</p> <p>第4回学術大会開催 平成14年11月22日（金）23日（土）の両日、アルカディア市ヶ谷（私学会館）にて開催。参加人数約200名。「新しい世紀を担う子どもの健全な育成のために」をメインテーマとし、2つのシンポジウム、4題の講演、4セッション13題の一般演題発表が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム : 「なぜ、今、子育て支援か」 ・シンポジウム : 「わが国の将来を担う子どもの健全な育成のために」 ・特別講演 : 「新しい世紀を担う子どもを遅く育てるために」 ・会長講演: 「病気を通してみる子育ての問題点とその解決法」 ・特別講演 : 「子育ての臨界例 - 神経科学的見地からの考察」 ・教育講演: 「学校教育の体質転換をめざして」 <p>・その他一般演題では、「喘息サマーキャンプの効果について」「アレルギー疾患患児・養育者における認知の変容と疾患コントロールへの影響」「医学用語啓発のためのバリアフリー冊子作成を通じたバイオエシックス教育の試み」等、(課題3)に関連した研究報告がなされた。</p> <p>研究会誌「子どもの健康科学」第3巻2号発行第1回回テーマ別研究会「質的研究」(「質的研究 その概要と保健医療分野における価値」「ナラティブ志向の質的研究</p>	<p>第5回学術大会開催 河野陽一大会長(千葉大学大学院医学研究院小児病態学・教授)の下、平成15年12月12日(金)13日(土)に第5回学術大会を開催予定。参加人数200名程度を予定。</p> <p>会員の質的向上を目指した研究会「テーマ別研究会」において、子どもに関する、研究や実践に役立つ課題を取り上げる。研究会誌「子どもの健康科学」第4巻 第1号・第2号を発行する。</p> <p>会員相互の情報交換・意見交流を目的としたメーリングリストの活用。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
19.NPO難病の こども支援全国 ネットワーク	42.43	<p>1.プレイリーダー(遊びのボランティア)養成講座の開設と活動支援。 入院している子どもたちに遊びを提供するボランティアを養成し、その活動を援助した。 講座:第5期 2002年5月21日から7月24日 第6期 2002年9月17日から11月19日 第7期 2003年1月23日から3月28日の3回開講し30名のプレイリーダーができた。現在の活動先は11病院にのぼっている。 2.病弱教育セミナーの開講。病弱養護学校の教師を主な対象として、医療・教育・福祉に関する専門知識を学ぶセミナーで、今回で8回目。 日時:2003年1月11日(金)から12日(日) 場所:国立オリンピック記念青少年総合センター 受講者:47名 3.サンタクロースの病院訪問。 サンタクロースがプレゼントをもって入院中の子どもたちを見舞った。国立成育医療センター、東海大学付属病院、神奈川こども医療センター、慈恵医大病院、順天堂病院、東大病院、自治医大病院、東北大学病院、拓桃医療センターの9病院を訪問した。 4.難病のこども支援全国ネットワーク電話相談室の開設。 病気や障害のある子どもの家族を主な対象に情報提供を行っている。14年度は全国から318件の相談が寄せられた。 5.サマーキャンプ「がんばれ共和国」を全国四ヶ所で建国。 毎年8月に、宮城県蔵王町、神奈川県大井町、愛知県鳳来町、大分県湯布院町の全国4ヶ所で、「友達つくるう」をテーマにキャンプが開かれている。病気や障害のある子どもと家族、ボランティアを合わせておよそ700名が参加した。 あしがらキャンプ 8月2日(金) 4日(日) いこいの村あしがら 七夕キャンプ 8月9日(金) 11日(日) 蔵王ハイツ おいでんほうらい 8月16日(金) 18日(日) モリトピア愛知</p>	<p>1.プレイリーダー(遊びのボランティア)養成講座の開設と活動支援。 入院している子どもたちに遊びを提供するボランティアを養成し、その活動を援助した。講座は5回開講を予定している。活動先と実習先の確保が課題。 2.病弱教育セミナーの開講。 病弱養護学校の教師を主な対象として、医療・教育・福祉に関する専門知識を学ぶセミナーで、今回で9回目。 日時:2004年1月9日(金) 11日(日) 14:00集合 場所:国立オリンピック記念青少年総合センター 受講者:50名 3.サンタクロースの病院訪問。 サンタクロースがプレゼントをもって入院中の子どもたちを見舞った。15年度は12病院を訪問する予定。 4.難病のこども支援全国ネットワーク電話相談室の開設。 病気や障害のある子どもの家族を主な対象に情報提供を行っている。15年度は黒木良和前神奈川こども医療センター所長の「先天異常等特別相談日」を月に1回設ける。 5.サマーキャンプ「がんばれ共和国」を全国四ヶ所で建国。 15年度も例年通り8月に、宮城県蔵王町、神奈川県大井町、愛知県鳳来町、大分県湯布院町の全国4ヶ所で、「友達つくるう」をテーマにキャンプを開催する。病気や障害のある子どもと家族、ボランティアを合わせておよそ700名が参加の予定。 あしがらキャンプ 8月1日(金) 3日(日) いこいの村あしがら 七夕キャンプ 8月8日(金) 10日(日) 蔵王ハイツ おいでんほうらい 8月22日(金) 24日(日) モリトピア愛知</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
19. NPO難病の こども支援全国 ネットワーク		<p>6.親の会活動の支援。連絡会、研修会、いのちの輝き毎日奨励賞の贈呈。 当会の主宰する親の会連絡会には、42の病気や障害のある子を持つ親たちが組織する親の会が参加している。情報交換、研修、親睦、社会運動のみならず、PR活動も行っている。14年度は、6回の定例会、臨時の会合が4回、研修旅行を1回、学会等での展示を4回行ったほか、小児慢性疾患法制化のための集会を議員会館で2回開催した。 毎日新聞社の「小児がん征圧募金」から100万円の寄付があり、親の会を対象に「いのちの輝き毎日奨励賞」を設け、募集した結果、13団体から応募があり、厳正な選考の結果、次の5団体に各20万円を贈呈した。 無痛無汗症の会トウモロウ TSつばさの会 ミトコンドリア病患者家族の会 SMA家族の会 医療的ケア全国ネットワーク 7.こどもの難病シンポジウム 君に伝える病気のこと とともに考えるためのインフォームドコンセント。 約170名の参加があり、活発に意見交換した。 日時:2002年6月1日(土) 13:30 17:30</p>	<p>6.親の会活動の支援。連絡会、研修会、いのちの輝き毎日奨励賞の贈呈。 当会の主宰する親の会連絡会には、42の病気や障害のある子を持つ親たちが組織する親の会が参加している。情報交換、研修、親睦、社会運動のみならず、PR活動も行っている。15年度も、定例会、研修旅行を1回、学会等での展示を行うほか、小児慢性疾患法制化のための集会を予定している。 7.こどもの難病シンポジウムの開催。 15年は外国から関係者を招き国際シンポジウムを計画している。 8.養護教諭セミナー 慢性疾患児が通常学級への編入を希望することが多くなっている一方、学校側の受け入れ態勢はまったくの未整備あることから、「小児慢性疾患検討会」の報告にあるように、通常学級の養護教諭を主な対象にセミナーを開催する。 日時:2003年10月(土)、11月1日(土)、8日(土) 10:30 16:30 場所:国立オリンピック記念青少年総合センター 受講者:100名 共催:全国養護教諭連絡協議会・日本児童教育振興財団</p>
20. (社)日本 医師会	<p>35、38 乳幼児保健検討委員会開催 乳幼児保健講習会開催 35 保護者への心肺蘇生法の周知 38 予防接種(三種混合・麻しん)の必要性の周知と接種の勧奨の強化</p>	<p>35. 「あなたにもできる心肺蘇生法」カードの作成・配布 作成部数:約200万部 配布先:都道府県・郡市区医師会 官公庁他 38.麻しん予防接種推進ポスターキャンペーンの実施 作成部数:A2版ポスター約4万部 プロイド版 約16万2,000部 配布先:全国の保育所(全国保育協議会会員) 全国の小児科医療機関 都道府県医師会 日本医師会 会員医療機関 乳幼児保健検討委員会の開催 会長諮問「乳幼児が心身ともに健やかに育つための諸課題(地域における連携、病後児保育のあり方等)」に対する検討 概要:平成14年度は4回の委員会を開催し、病後児保育や予防接種、小児救急、児童虐待の問題等を取り上げ、医師会の果たす役割について検討を行った。 平成14年度乳幼児保健講習会の開催 平成15年2月16日(日) 「育児と仕事を両立できる社会環境づくりを目指して」 対象:日本医師会会員</p>	<p>35. 「あなたにもできる心肺蘇生法」カードの作成・配布 作成部数:約200万部予定 配布先:都道府県・郡市区医師会 官公庁他 38.麻しん予防接種推進ポスターキャンペーンの実施 乳幼児保健検討委員会の開催 会長諮問「乳幼児が心身ともに健やかに育つための諸課題(地域における連携、病後児保育のあり方等)」に対する答申書作成 平成15年度乳幼児保健講習会を開催予定 対象:日本医師会会員 参加人数:500人を予定</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
24. (社)日本看護協会	43.慢性疾患児などの在宅医療の支援体制の整備と充実(課題4.53を含む)	43.1.小児慢性疾患看護検討プロジェクト (目的)小児慢性疾患児の在宅医療における看護の課題整理、および慢性疾患児の在宅医療に係わる看護関連の事業についての検討。 (内容) 1)課題整理:現行制度に基づくサービスの実態から現状を分析、問題と課題を整理。 2)事業検討:在宅ケアにおける看護職間ネットワークに関すること、小児在宅ケアのガイドラインに関すること、研究活動の推奨等、5項目10事業提案があった。	43.1.小児慢性疾患児の在宅ケア支援 1)退院調整に関するガイドライン作成 (目的)小児慢性疾患児の在宅ケア支援体制の整備と充実 (内容)病院から在宅ケアに移行する際の退院調整に関するガイドラインの作成
25.日本公衆衛生学会	38.(予防接種の必要性の周知と接種勧奨の強化)	38.(予防接種の必要性の周知と接種勧奨の強化) 第61回総会(平成14年10月、さいたま市)において、「麻疹ワクチンをめぐる諸問題」に関するミニシンポジウムを開催した。(参加者140人)	23～43(このうちの数項目)。(小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備に関する数項目) 第62回総会において、本課題に関連した行事を
27.(社)日本歯科医師会	62.(歯の健康の推進)幼児期のう蝕予防	62.(歯の健康の推進) *第51回母と子のよい歯のコンクールの実施 目的(テーマ):厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。 参加人数(対象者):平成13年度に行われた全国の3歳児歯科健康診査の受診者(平成13年度受診者数976,834人)。地方審査を経て都道府県から中央審査会に申請のあった母と子は34組でその中から優秀な6組を選出し、優秀母子6組に対する表彰(厚生労働大臣表彰及び日本歯科医師会会長表彰)は、11月9日(土)に静岡市で開催された第23回全国歯科保健大会の式典で行った。 開催数、方法等:毎年1回 62.(歯の健康の推進) 歯の衛生週間の実施 目的:歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。 標語:「じょうぶな歯 健康づくりの 第一歩」 重点目標:「地域に根ざした8020運動の展開」 地域において、8020運動のより実践的な展開を図り、地域の特色を踏まえた生涯を通じた歯の健康づくりを進めるため、「地域に根ざした8020運動の展開」を重点目標とする。 主催:(中央)厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会 実施要領及びポスターの配布による周知:中央及び地方の主催団体から実施要領を配布し周知徹底と普及啓発に努めるとともに日本歯磨工業会の協力により作成したポス	62.(歯の健康の推進)幼児期のう蝕予防 *第52回母と子のよい歯のコンクールの実施 目的(テーマ):厚生労働省と日本歯科医師会の主催により3歳児歯科健康診査受診者及びその子供の母親もよい歯を保持している母子を選出し優秀者の表彰を行い、歯の健康保持に関する知識の普及啓発を図る。 参加人数(対象者):平成14年度に行われた全国の3歳児歯科健康診査の受診者の中から地方審査を経て都道府県から中央審査会に申請のあった母と子を対象に優秀な6組を選出する。優秀母子6組に対する厚生労働大臣表彰及び日本歯科医師会会長表彰は、11月15日(土)につくば市で開催する第24回全国歯科保健大会の式典で行うこととしている 歯の衛生週間の実施 目的:歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。 標語:「わたしの歯 みらいへつづく たからばこ」 重点 目標:「地域に根ざした8020運動の展開」地域において、8020運動のより実践的な展開を図り、地域の特色を踏まえた生涯を通じた歯の健康づくりを進めるため、「地域に根ざした8020運動の展開」を重点目標とする。 主催:(中央)厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会 実施要領及びポスターの配布による周知:

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
27.(社)日本 歯科医師会		<p>62(歯の健康の推進) 母子歯科保健推進協議会の開催 母子保健に関する法人格を持つ全国的組織である諸団体との意思の疎通を図るために、昭和52年に本協議会を設置し、地域社会における歯科保健事業の推進を目指して毎年1回開催している。平成14年度は、平成15年3月26日(水)に開催し、本会の推進する歯科保健事業に関し協力を要請するとともに、母子歯科保健の推進について懇談した。なお、母子保健推進会議の母子保健推進員向けの機関紙「母推さん」に平成14年度から歯科保健に関するページ「8020の里」に毎号原稿を提出し掲載されている。</p> <p>[加盟団体] (社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会、(社)日本家族計画協会、(社)母子衛生研究会、(財)日本母子衛生助成会、(社)日本栄養士会、(財)日本食生活協会、(財)日本公衆衛生協会、(社)全国私立保育園連盟、(社会福祉法人)恩賜財団母子愛育会、(社)日本歯科衛生士会、(社)日本歯科医師会</p> <p>62.(歯の健康の推進) 第21回保育所(園)・幼稚園表彰の実施 4～5歳児に及ぼすう蝕の影響性に鑑み、保育所(園)・幼稚園のう蝕の早期処置を勧めるとともに歯科保健指導が徹底している保育所(園)・幼稚園からの参加申し込みを受け、夏休み前と後の2回にわたる歯科健診の結果を、都道府県歯科医師会を経由して提出された調査票に基づき審査の上、応募のあった220ヶ所について「優秀」57「努力」112「参加」51の各賞を決定し表彰した。</p> <p>62(歯の健康の推進) 8020達成イメージ図の配布 乳幼児期から高齢期にいたる各ライフサイクルに対応する歯科保健事業の活性化による歯牙の喪失防止に向けて、都道府県歯科医師会向けに関係団体との歯科保健事</p>	<p>母子歯科保健推進協議会の開催 母子保健に関する法人格を持つ全国的組織である諸団体との意思の疎通を図るために、昭和52年に本協議会を設置し、地域社会における歯科保健事業の推進を目指して毎年1回開催している。本会の推進する歯科保健事業に関し協力を要請するとともに、母子歯科保健の推進について懇談している。なお、母子保健推進会議の母子保健推進員向けの機関紙「母推さん」に平成14年度に引き続き歯科保健に関するページ「8020の里」に毎号情報提供の原稿を提出することとしている。</p> <p>[加盟団体] (社)母子保健推進会議、(社)全国保健センター連合会、(社)日本家族計画協会、(社)母子衛生研究会、(財)日本母子衛生助成会、(社)日本栄養士会、(財)日本食生活協会、(財)日本公衆衛生協会、(社)全国私立保育園連盟、(社会福祉法人)恩賜財団母子愛育会、(社)日本歯科衛生士会、(社)日本歯科医師会</p> <p>第22回保育所(園)・幼稚園表彰の実施 4～5歳児に及ぼすう蝕の影響性に鑑み、保育所(園)・幼稚園のう蝕の早期処置を勧めるとともに歯科保健指導が徹底している保育所(園)・幼稚園からの参加申し込みを受け、夏休み前と後の2回にわたる歯科健診の結果を、都道府県歯科医師会を経由して提出された調査票に基づき審査の上、「優秀」「努力」「参加」の各賞を決定し表彰することとしている。</p>
27.(社)日本 歯科医師会		<p>海外歯科問題フォーラムの開催 海外に派遣される労働者及びその帯同家族の歯科保健管理が問題化していることから、「海外での母子保健医療の諸問題」をテーマとして平成15年1月31日にフォーラムを開催し、約300名が参加した。</p>	
30.日本周産 期学会	23.24		<p>学術集会を実施の予定 会 長:戸 莉 創 日 時:平成16年1月23日(金)、24日(土) 場 所:全日空ホテルグランコート名古屋 プレコンGRES:'Cerebral circulation at birth in term and preterm infants'Adrian M Walker, Ph.D シンポジウム:母児の予後からみた娩出のタイム</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
31.(社)日本小児科医会	26.29.38	「子どもを煙害から守る」公開講座を1月25日にて開催 保護者、保育関係者など一般希望者100名を募り、フジテレビマルチシアターに於いて能動・受動喫煙による害を啓発。 麻疹制圧運動を展開 重症麻疹調査 一歳半児の予防接種率調査 麻疹撲滅のポスター2万枚を作成し、配布配布先は本会会員、医育機関、医師会関係、関係学会、希望保健所・保育所等	テーマ 29.38 当会のホームページを利用しての子どもの健康相談 「子どもを煙害から守る」事業として母親と未成年者の禁煙指導の具体的な方法を小冊子にして、会員などに配布する。 麻疹制圧運動を前年度に引き続き展開する。ポスター1万枚、リーフレットを会員の外来を通じて配布する予定。 ホームページを使用して、海外の子どもの健康相談、在日外国人医療問題の相談を受ける。
32.(社)日本小児科学会	25.新生児死亡/乳児(1歳未満)死亡の防止 38.予防接種の必要性の周知と接種の勧奨の強化 39.初期、二次、三次の小児救急医療体制の整備 41.小児科医師・新生児科医師・児童精神科医師の確保と養成 42.院内学級・遊戯室等の小児病当施設の充実 61.身体活動・運動の推進	25.わが国の主要医療施設におけるハイリスク新生児医療の現状と新生児期死亡率の調査を行った(新生児委員会)。 38.日本小児科医会、日本小児保健協会との協力の下に、麻疹撲滅のためのキャンペーン、特に1歳の誕生日を期に麻疹ワクチン接種を勧めるキャンペーンを行った。 39.小児救急医療対策プロジェクトチームを結成し、小児救急医療ワークショップの開催、小児救急フォーラムの開催などを通して、現状の分析とそれに基づく改善のための基本的システムの提言案を作成した(小児救急医療対策プロジェクトチーム)。 41.・初期臨床研修制度下での小児医療の研修実施要項案の作成(教育委員会) ・小児医学教育研究会などでの小児医療担当医養成のための教育の在り方についての検討などを行った。 42.入院している子ども・家族へのよりよい支援システム構築のための基礎調査として子どもの入院環境の調査を行った(学校保健・思春期問題委員会)。 61.・子どもの発育・発達に及ぼす長時間のテレビ・ビデオ視聴の影響について、特に子どもの言葉の発達に及ぼす影響に焦点を当てた調査を行い、「新しいタイプの言葉遅れの子どもたち - 長時間のテレビ・ビデオ視聴の影響 - 」として報告した(こどもの生活環境改善委員会)。 ・生活環境の変化が子どもの体と心に及ぼす影響見するための調査を行い、その結果を踏まえて、提言「運動遊びで、子どもの体と心を育てよう」を行った(こどもの生活環境改善委員会)。	25.新生児管理基準の検討 ・プレネイタルビジットの推進 ・卒前、卒後における新生児に関する教育のstandardの検討 28.チャイルドシート着用の義務化へ向けて基礎資料の収集を行う(少子化対策プロジェクトチーム) 38.日本小児科医会、日本小児保健協会との協力の下に、麻疹撲滅のために必要な条件を探索する。特に、予防接種の摂取率の向上を図るため、接種主体である自治体の対応と摂取率とは関係があるとの仮説を証明するための調査を行い、それが確認されれば、摂取率向上のための対策について自治体への働きかけを行う(予防接種委員会、少子化対策プロジェクトチーム)。 ・麻疹根絶のための市民公開フォーラムの企画(予防接種委員会)。 ・厚生労働省予防接種後副反応・健康状況調査委員会公表のデータを日本小児保健協会予防接種委員会、日本小児科医会公衆衛生委員会との協同で解析し「予防接種後の副反応、その対策に関してのガイドライン」並びに「予防接種と子どもの健康」の改訂版を作成する(予防接種委員会)。 39.小児救急医療ワークショップ、小児救急公開フォーラムの開催。 ・ワークショップ、公開フォーラムを通して作成された現状の改善のための基本的システムの提言案に基づき、日本小児科医会、日本小児保健協会、日本医師会、厚生労働省の担当部局などと協力して、地域の実情に応じた具体的システム作成に向けた検討を行う(小児救急医療対策プロジェクト)

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
32. (社)日本小児科学会			41.第一線から離脱したあるいはしつつある女性医師の離脱理由を解明し、その様な女性医師のrecruitのために必要な用件を検討する(女性医師の職域での環境改善プロジェクト委員会)。 60.摂食障害、ネグレクト、肥満の早期発見に関して成長曲線を用いたワークショップの開催(学校保健・思春期問題委員会)。 61.乳幼児期の長時間にわたるテレビ・ビデオ視聴の子どもの精神・心理学的発達に及ぼす影響の検討を行い提言を出す(こどもの生活環境改善委)
33. 日本小児看護学会	39.初期、二次、三次の小児救急医療体制の整備 43.慢性疾患児等の在宅医療の支援体制の整備と充実	39.目的:小児救急の実態の把握をするため、小児救急を標榜している病院の医師・看護師を対象に、患者、医療者サイドの状況について実態調査を行った。 内容・結果:集計は今後行っていく。 43. < 学術集会の開催 > 目的:看護職の啓発を行い、在宅療養する子ども達への安心な医療と療養生活の質の向上につなげる 内容・結果:7月12・13日横浜において開催され「子どもと家族の主体性を支える看護 - 今、直面している困難感からの脱却 - 」というメインテーマで、講演やシンポジウム、課題別検討会等が行われた。課題別検討会では「医療処置を伴う子どもと家族の退院後の生活を考えた支援」において訪問看護ステーションからの話題提供など実際的な検討が行われたり、一般演題発表において「在宅ケア」や「家族支援」などを含め計84題の発表があり、慢性疾患の在宅療養している子ども達の支援について欠かせない討議が行われ、看護職の実践への動機付けとなった。 < 研究活動 > 目的:「小児慢性疾患児の在宅療養のためのケアマニュアルの開発およびケア提供者の教育に関する事業」について研究助成申請が内定されたので、実態の把握とともに在宅の子どもや家族への支援に貢献しうる実践活動へとつなげる。 内容・結果:研究活動はこれからである	39.< 研究活動 > 昨年の継続で、実態調査の分析後、その結果に基づき小児の救急医療の向上のための看護師の教育プログラム作成に向けて取り組む。 43. < 研究活動 > 研究助成申請が内定された「小児慢性疾患児の在宅療養のためのケアマニュアルの開発およびケア提供者の教育に関する事業」について、調査を実施し、在宅療養の子どもや家族への支援の方向性について探る。 小児の入院環境・体制の整備< 地方会の開催 > 広島県および長野県の2カ所で地方会を開催し、子ども達が入院している病院・施設において、子どもの人権を尊重した治療・看護が行えるよう認識を高める目的で、小児に関わる看護師を対象に研修会を開催する。

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
34. 日本小児救急医学会	28.不慮の事故防止 33.家庭での事故防止対策の推進 34.風呂場のドアに工夫するなど具体的な事故防止対策の推進 31.かかりつけ小児科医制度の推進 32.休日・夜間の小児救急医療会館の保護者への周知 39.初期・二次・三次の小児救急医療体制の整備	28・33・34を一緒に * 市民公開講習会の実施 目的:若い保護者を含めた育児支援関係職種への事故の悲惨さと事故防止の必要性の啓蒙・教育 参加人数;300名(保護者、保育園、幼稚園、養護教諭、小児科医など) 開催・方法;日本小児救急医学会開催前日に市民公開講座として年1回 兵庫県神戸市 効果;スライドを用いたわが国の現状の分析にて、現実的な予防法を解説したため、かなり有用であったと思われる。 31・32・39を一緒に * 公開シンポジウムの実施 目的:小児救急医療現場からのメッセージとして、小児救急医療の現場の問題・課題点の抽出とその解決法への議論 参加人数;100名(小児科医、小児看護師、医療行政者、一般医療関係者など) 開催・方法;日本小児救急医学会にて公開シンポジウムとして年1回 兵庫県神戸市 効果;小児科医および医療行政者にとってはきわめて有	28・33・34・31・32・39を一緒に * 市民公開講座の継続開催 小児救急医療の現状の解説 小児内科の救急疾患と対応 小児外科の救急疾患と対応 看護師の立場からのアドバイス 開催・方法;日本小児救急医学会開催前日に市民公開講座として年1回 埼玉県さいたま市 31・32・39を一緒に * シンポジウムの開催 「小児救急医療の短期・長期処方箋:体制について私はこう考える」をタイトルとして、12名のシンポジストを擁し、3部構成で約5時間のシンポジウムを予定している 開催・方法;日本小児救急医学会開催前日に市民公開講座として年1回 兵庫県神戸市 対象;日本小児救急医学会会員・小児科医・小児外科医・小児科麻酔科医・その他看護師など
39. 日本赤十字社	14.15.19.23.24.25.26.27.37.38.49.52.54.55.60.61.62	テーマ25,26,27,37,38,49,52,54,55,60,61,62 * 乳幼児健康相談:全国で68の赤十字病院で実施 テーマ25,26,27,37,38,49,52,54,55,60,61,62 * 小児健康相談:全国で58の赤十字病院で実施 、 について、「平成13年度に引き続き、母子保健医療推進の認識の醸成に努めるとともに自治体等との連携を図りながら、赤十字病院として実施可能な事項についてさらなる推進について取り組むこと。」を念頭に「小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備」の課題について、上記の多数のテーマを総合的に、看護師・助産師・医師を中心に多くの赤十字病院にて実施した。 テーマ14,15,19,23,24,25,26,36,53,60 * 総合周産期母子医療センター:全国で5の赤十字病院に設置 * 施設地域周産期母子医療センター:全国で9の赤十字病院に設置 * 新生児特定集中治療管理室:全国で32(385室)の赤十字病院に設置 について、出産前後の母体及び胎児並びに新生児の一貫した診療・管理等を行った。	テーマ25,26,27,37,38,49,52,54,55,60,61,62 * 乳幼児健康相談 テーマ25,26,27,37,38,49,52,54,55,60,61,62 * 小児健康相談 、 について、「母子保健医療推進の認識の醸成に努めるとともに自治体等との連携を図りながら、赤十字病院として実施可能な事項についてさらなる推進について取り組むこと。」を念頭に、14年度に引き続き「小児保健医療水準を維持・向上させるための環境整備」の課題について、上記の多数のテーマを総合的に、看護師・助産師・医師を中心に実施すること。 テーマ14,15,19,23,24,25,26,36,53,60 * 総合周産期母子医療センター:全国で5の赤十字病院に設置 * 施設地域周産期母子医療センター:全国で9の赤十字病院に設置 * 新生児特定集中治療管理室:全国で32(385

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
39. 日本赤十字社	・子どもに起こりやすい事故の予防と救命手当・応急手当の方法、病気への対応のしかたについて、一層の普及を図ること。(25、27、28、31、32、33、34、35、36、37、38、40)	指導体制の強化 ・赤十字幼児安全法指導員資格交付伝達研修の開催31回 387人 ・赤十字幼児安全法指導員養成講習会の開催3回 19人 ・概要:赤十字幼児安全法の指導員資格を交付するため、赤十字救急法指導員に対する伝達研修会を日本赤十字社各都道府県支部で実施した。また、新たな当該指導員の養成のための講習会も実施した。 教材の整備 ・赤十字幼児安全法の一層の普及を図るため、視聴覚教材(ビデオ)、小冊子を作製し、日本赤十字社各都道府県支部等で活用するとともに、また(株)日赤会館を通じて一	小さな子どもをもつ母親や子どもを預かる保育園、幼稚園等の職員を対象とした講習会を全国的に展開していく。 子どもを社会全体で大切に育てていく社会的環境を整備する一助として、赤十字幼児安全法の一一般への周知について、各方面への働きかけを引き続き実施する。 指導体制の一層の強化を図るため、引き続き指導者の養成を行う。
48.(社)日本理学療法士協会	26.乳児のSIDS死亡の防止 36.乳幼児期のうつぶせ寝の防止	* SIDS防止月間の推進活動 目的:11月のSIDS防止月間に協会ホームページにパンフレットを掲示し、広くSIDSによる死亡の状況とうつぶせ寝の防止を広報する。 方法:協会ホームページ http://wwwsoc.nii.ac.jp/jpta/menu.html に平成14年10月下旬から12月上旬まで掲示する。 効果:会員を中心に、SIDSによる死亡の現状とうつぶせ寝の危険性を広めることに寄与したものと考え。	26.乳児のSIDS死亡の防止 * インターネットによる広報活動11月の防止月間に協会のホームページにてパンフレット等を掲載する。 43.慢性疾患児等の在宅医療の支援体制の整備と充実 * 療育マップの作成(検討課題)・肢体不自由や病弱児の理学療法(含む運動療法)が行える施設や事業所の場所・連絡先・サービス内容等をまとめた冊子を作成する。・上記情報をインターネット(健やか親子21ホームページからのリンク)で発信できるように検討する。 * 慢性疾患児・病弱児・肢体不自由児等の在宅

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
49.(財)母子衛生研究会	23.25～30.33.35～38.等 育児全般に関すること 28.33.35.等 乳幼児期の事故防止に関すること	23.25～30.33.35～38.等 *パンフレットの作成・配布 目的:妊娠・出産・育児についての基本的な知識、情報を得ることにより、快適で充実した妊娠・出産・育児期を過ごすことをねらいとした母子健康手帳の副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」を作成し、配布する 配布対象者:関係機関(地方自治体等)を通じて妊娠届出者に配布 配布部数:1,350,000部 効果、その他:妊娠中や育児期の母子の健康管理、事故防止を含めた家庭における育児環境の整備がはかられる。 28.33.35.等 *パンフレットの作成・配布 目的:乳幼児期における事故防止と応急手当についての基本的な知識、情報を得ることにより、家庭における育児環境の整備をねらいとした冊子「わが家の安心ガイドブック」の作成・配布 配布対象者:関係機関(地方自治体等)を通じて妊娠届出者等に配布 配布部数:1,200,000部 効果、その他:事故防止の観点から、家庭における育児環境の整備がはかられる。	23.25～30.33.35～38.等 育児全般に関すること *パンフレットの作成・配布(継続実施) 母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」の作成・配布 28.33.35.等 乳幼児期の事故防止に関すること *パンフレットの作成・配布(継続実施) 冊子「わが家の安心ガイドブック」の作成・配布 28.33.35.等 家庭における事故防止に関すること *電話情報「乳幼児の事故防止と応急手当」の継続実施

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
49.(財)母子衛生研究会	28.33.35等 家庭や集団保育時における事故防止に関する事 28.33.35等 海外における事故防止に関する事 28.33.35等 家庭における事故防止に関する事	28.33.35等 ＊パンフレットの作成・配布 目的：乳幼児期における事故防止と応急手当についての基本的な知識を得ることにより、家庭や保育所等集団保育の現場における事故防止をねらいとした冊子「乳幼児の事故予防・救命手当マニュアル」の作成・配布 配布対象者：関係機関（地方自治体の母子保健部局、児童福祉部局、関係団体等）に配布 配布部数：50,000部 効果、その他：事故防止の観点から、家庭や集団保育現場における育児環境の整備がはかられる。 28.33.35等 ＊パンフレットの作成・配布 目的：海外における特殊事情を考慮した事故防止と応急手当についての基本的な知識、情報を得ることにより、海外で妊娠・出産・育児期を過ごす在留邦人家庭における育児環境の整備をねらいとした冊子「海外での子どもの事故防止と救急救命」の作成・配布 配布対象者：関係機関（地方自治体、パスポートセンター、検疫所等）の指導者 配布部数：20,000部 効果、その他：事故防止の観点から、海外で妊娠・出産・育児期を過ごす在留邦人家庭における育児環境の整備がはかられる。 28.33.35等 ＊電話情報「乳幼児の事故防止と応急手当」の実施 目的：乳幼児の事故防止と応急手当について解説し、家庭における育児環境の整備をはかるために、いつでもどこからでも利用できるテープによる24時間電話情報を実施。 対象者：思春期の男女 効果、その他：乳幼児の事故防止と応急手当に関する99項目について電話ですぐ情報が得られ、不安が軽減す	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議	2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62	<p>1 平成14年母子保健家族計画全国大会(健やか親子21全国大会)の開催 本年より本会議・厚生労働省・(社)福・恩賜財団母子愛育会・(社)日本家族計画協会・佐賀県・佐賀市の主催により開催するとともに永年地域母子保健活動に貢献のあった団体と個人に本会議会長表彰を行った。 平成14年11月14日(木) 特別講演「育児と育自...子どもと大人、同世代を生きる」 講師 作家 落合 恵子 シンポジウム テーマ「子どもの健やかなこころを育むために～健やか親子21の目指すもの～」 コーディネーター (社)日本小児保健協会会長 前川 喜平 シンポジスト 世田谷区烏山保健福祉センター 塩谷 博子 地域ぐるみの子育てをすすめるひだまりの会 高山 静子 佐賀新聞社報道部記者 エドワード・クランドール 平成14年11月15日(金) シンポジウム テーマ「現代っ子の性を考える」 司会進行 (社)日本家族計画協会クリニック所長 北村 邦夫 司会進行 NBCラジオ佐賀パーソナリティー 阿部 かおり シンポジスト 若者 男女 数名</p>	<p>2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62 1 平成15年母子保健家族計画全国大会の開催 富山県富山市で開催される大会に主催団体として企画・準備・運営等を行う。 期 日:平成15年11月6日(木) 7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>2 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施 富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。</p> <p>3 第3回母子保健推進員全国大会の開催 開催日:平成15年11月7日(金) 会 場:富山県民会館</p> <p>5 母子保健推進員教育事業 (1)ブロック母子保健事業研修会の開催 (2)母子保健推進員研修会の開催 (3)母子保健推進員県外交流特別研修会の開催 (4)沖縄県母子保健特別対策の実施 (5)母と子の健康を守るつどい (6)都道府県母子保健推進員協議会組織育成事業 (7)母子保健指導書の制作配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>行政説明 国民運動「健やか親子21」の推進を 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課課長 谷口隆 思春期教育劇「未来へ」 沖縄市母子保健推進員「ひまわり会」 シンポジウム「母子保健推進員協議会活動の現状と展望」 司会 (社)母子保健推進会議常務理事 原澤 勇 アドバイザー NPO法人全国市町村保健活動協議会常任理事 大坂 多恵子 講師 山口県母子保健推進協議会会長 林タカ枝 富山県母子保健推進員連絡協議会 轡田民子 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会会長 狭間歌子 長野県保健補導員会等連絡協議会会長 田中晃子 佐賀県母子保健推進協議会会長 古賀裕子</p> <p>3 (社)母子保健推進会議会長表彰 1) 団体 (21) 2) 個人 (34)</p> <p>4 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 日 時:平成14年11月14日(木) 17:15～19:00 会 場:佐賀市文化会館 内 容:母子保健推進員活動報告 出席者:46名(各県母子保健担当者、母子保健推進員および関係者)</p> <p>5 母子保健推進員教育事業 (1)ブロック別母子保健事業研修会の開催 本会議、開催県、(社)日本家族計画協会、(社)全国保健センター連合会との共催、厚生労働省、(社)日本助産師</p>	<p>母子保健推進員を対象とする指導書を制作する。 1) 指導書(手帳) 2) リーフレット 〔表 題〕 「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」</p> <p>6 本会議機関紙“母推さん”の刊行 「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104～115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 〔表 題〕 「ママと赤ちゃんの健康チェック」 「支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう」 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 「健やか親子21」国民運動の推進</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>テーマ:子どもの心の安らかな発達支援のために 子どもの虐待防止を目指す地域システムづくり 思春期の心の健康づくり 若者の性を考える 妊娠・出産期の母子精神保健 育児不安と子どもの虐待 小児期における問題の早期発見と早期対応の取り組み</p> <p>1) 東北・北海道ブロック(秋田県) 250名 9月5日～6日 2) 関東・甲信越ブロック(東京都) 107名 8月29日～30日 3) 東海・近畿・北陸ブロック(京都府) 107名 8月29日～30日 4) 中国・四国ブロック(高知県) 86名 11月21日～22日 5) 九州ブロック(北九州市) 256名 8月22日～23日 6) 北海道(札幌市) 180名 11月15日</p> <p>(2)母子保健推進員研修会の開催 市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。</p> <p>主な研修会の内容は、</p> <p>1) 母子保健推進員活動報告 2) こどもの事故防止 3) 乳児期の歯科保健 4) 子育て支援 5) 歯科保健 6) 子どもの虐待 7) ドメスティック・バイオレンスと女性の人權 8) 思春期保健</p> <p>(3) 沖縄県母子保健特別対策の実施 沖縄県母子保健事業の促進をはかるため、沖縄県において母子保健推進員、市町村母子保健担当者を対象に、平</p>	<p>9 母子歯科保健知識の普及活動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 [表 題] ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業 (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (6) 歯科保健指導用パネル制作配布</p> <p>10 妊婦等禁煙運動の推進 (1) ポスターの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業</p> <p>12 子育て中の母親へのピア・カウンセラー養成事業</p> <p>13 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		(4)母と子の健康を守るつどい 母子保健推進員の地域活動を助成し、県民の乳幼児保育に対する意識の向上と地域連帯感の高揚をはかるため「母と子の健康を守るつどい」を山口県阿東町で開催した。 (5)ピアカウンセラー養成事業 新潟県五泉市において母子保健推進員に対して9日間コースでピアカウンセリング研修会を実施した。 (6)母子保健指導書の制作頒布ならびにリーフレットの制作配布 母子保健推進員に対する指導書及び推進員訪問活動用リーフレットを制作配布し、母子保健事業の教育並びに啓発を行った。 1)指導書 〔表題〕「母子保健推進員」 〔制作数〕1,500部 〔配布先〕母子保健推進員 2)リーフレット 〔表題〕「丈夫な赤ちゃんを生ま育てましょう」 「元気に育てよう 私の赤ちゃん」 〔制作数〕20,000部×2種 〔配布先〕母子保健推進員(研修会参加者) (7)都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業 母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。 富山県母子保健推進員連絡協議会 長野県保健補導員等連絡協議会 新潟県母子保健推進協議会 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会	14 第15回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 (財)予防医学事業中央会、(社)日本家族計画協会との共催で開催する。 表彰最優秀賞 : 厚生労働大臣賞 1件 優秀賞 : 3件 佳作賞 : 若干 奨励賞 : 若干

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>(8)茨城県北浦町視察研修 平成14年11月29日(金)に茨城県北浦町の母子保健推進員および、担当保健師13名が本会議に来訪。視察研修を行った。</p> <p>6 本会議機関紙「母推さん」の刊行 母子保健推進員を対象として、機関紙「母推さん」-母子保健推進員だより-(タブロイド判)を毎月発行し、全国の都道府県保健所・市町村母子保健関係者及び母子保健推進員等に配布した。92号～103号</p> <p>7 子育て支援グループ育成事業 地域住民の参加により、子育て問題をテーマとする「母子保健・健全育成住民会議」を次の各県で開催した。 主な研修会の内容は 1)講演「心をことばにのせて」 2)絵本の読み聞かせ 3)講演「ダダこね育ちのすすめ」 4)シンポジウム「子育てに思うこと」他</p> <p>8 母子保健に対する知識の普及啓発活動 (1)10月を「母子保健強調月間」とし、(社)日本産婦人科医会、(社)日本小児保健協会など会員団体の協力、厚生労働省の後援を得て次の事業を実施した。 1)妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 (表題)「ママと赤ちゃんの健康チェック」-支えよう21世紀の健やか親子- 健診を忘れずに受けましょう 働く女性、事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう 母と子の健康をまもる運動 (主唱)社団法人 母子保健推進会議</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		2) 母子保健啓発用パンフレットの制作配布 〔表 題〕「母子保健」第38号 〔制作数〕 2,600部 〔配布先〕 都道府県、政令市、中核市、関係諸団体、全国大会参加者 9 母子歯科保健知識の普及運動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施 市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と併せて、母子保健推進員及び保健師、学校関係者等を対象に、次の各県で行った。 主な内容は、 1) 口腔清掃 2) 歯周病の原因と予防 3) 摂食機能の発達について 4) 歯科臨床の現場から 5) 噛み合わせと歯の健康 6) 歯科矯正 開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 〔表 題〕「乳幼児歯科保健指導のポイント」(歯科保健指導者のために) 〔制作数〕 1,600部 〔配布先〕 歯科研修会開催県及び参加者(専門職)	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		(3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県の委託、愛知県歯科医師会の指導により制作配布。 (表題) 「歯のパスポート」守ってあげてね！お子様の歯！こんにちは！6歳臼歯 (制作数) 81,000部 (配布先) 愛知県市町村及び歯科医師会 (4) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (表題) 「おかあさんといっしょに よい歯で よくかむよい子ども」 (制作数) 750,000部 (配布先) 全国保健センター、各県研修会場 (5) 歯科保健指導用パネル制作配布 (表題) 歯科保健指導用パネル (指導) (社)日本歯科医師会 (制作数) 725枚 (配布先) 都道府県、政令市、市町村、各県歯科医師会関係 (6) 母子歯科保健教材セットの配布 (対象) 1.6歳児または3歳児 (実施方法) 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健知識の普及を図った。 (配布教材) 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット 3歳児用歯ブラシとリーフレット	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>10 妊婦等禁煙運動の推進 (1)妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。 1)ポスターの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 〔協賛〕明治乳業株式会社 〔後援〕社団法人 日本産婦人科医会 〔制作数〕20,000枚 〔配布先〕都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等 2)リーフレットの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕86,000部 〔配布先〕都道府県、関係諸団体等 3)クリアファイルの制作配布 〔表題〕「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕15,000枚 〔配布先〕研修会開催県及び参加者等</p> <p>11 子どもの事故防止推進事業 子どもの事故防止のための研修会を開催するとともに事故の調査を行った。また教材の制作を行い広く活用を図った。 (1)研修会の開催 鹿児島県 平成14年10月16日(水) 沖縄県 平成15年1月23日(木) (2)誤飲防止の教材として「誤飲チェッカー」の開発を行</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子保健推進会議		<p>12 子どもの虐待防止推進事業 「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。 (1)研修会 延参加者数 1,288名 群馬県 平成14年 6月24日(月) 前橋市民文化会館 421名 熊本県 平成14年10月10日(木) メルパルク熊本 300名 大阪府 平成14年11月19日(火) ドーンセンター 270名 広島県 平成14年11月27日(水) 広島県健康福祉センター 147名 長野県 平成14年11月28日(木) 長野県自治会館 150名 (2)テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。 テキスト... 「母推ノート」- 子ども虐待防止のためのサポート - 13,000部 規格:A5版、80頁、4色刷 著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人 リーフレット...「お母さん、子育てを楽しんでいますか？」 - 一人で悩まないで、私たちもお手伝いできます - 100,000部 著者:佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p> <p>13 第14回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、東京都、(財)保健会館、健康</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
50.(社)母子 保健推進会議		厚生労働大臣賞 1席 沖縄県沖縄市母子保健推進員ひまわり会 パネル「事故予防パネル」 模型「事故予防ミニチュアハウス『危ない家』」 優秀賞 3席 北海道札幌市中央保健センター パネルシアター「いのち・からだのおはなし」 千葉県四街道市立学校栄養士会 模型「野菜人形」 新潟県市町村栄養士協議会上越支部 パンフレット「元気いきいきチェック表」 佳作賞 48席 北海道渡島保健所ほか47席 パワーポイントスライドショー「介護認定審査会委員研修用スライド」 奨励賞 11席 千葉県夷隅郡市立学校栄養士会ほか10席 エプロンシアター「三色の栄養エプロン」	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
53. 日本小児総合医療施設協議会	29.妊娠中の喫煙の防止・育児期間中の両親の自宅での喫煙の防止 39.小児救急体制の整備と充実	29.妊娠中の喫煙の防止・育児期間中の両親の自宅での喫煙の防止 研修会と公開講座と開催1) 研修会(神奈川県立こども医療センター)2回 テーマ: 受動喫煙の影響について 胎児および受動喫煙者に及ぼす影響を先天異常モニタリング調査と文献に基づいて教育講演を実施。参加者は50名(意思、看護師、コメディカルスタッフ)。特に周産期センター職員の参加が重要であった。 効果:平成14年10月から全館禁煙を実施。 2) 公開講座(神奈川県立こども医療センター)1回参加者約80名 テーマ: こどもをたばこの害から守ろう 根拠は受動喫煙の影響について一般市民を対象に実施。静岡こども病院と共催。市民対象であったが、保健師、助産師、養護教諭などの参加も多数あり情報伝達もよかった。 39.小児救急体制の整備と充実 貧弱は小児救急体制を改善すべく、小児総合医療施設協議会は、小児救急にかかわるべきとの方針を確認。新たに下記の施設で小児救急が発足できた。 1) 神奈川県立こども医療センター: 救急診療科を新設し、県の小児救急システムのうち主として三次救急を分担開始(平成14年1月から)。実績が上がっている。 2) 国立成育医療センター: 一次～三次の小児救急を開始。実績が上がっている。 3) 埼玉県立小児医療センター: 一次から三次小児救急を開始。徐々に実績上がる。 4) 他の小児医療施設も独自に取り組み始めている。 小児病院は小児科医の集積基地であり、その実力を小児救急にも発揮することは、日本の小児救急の発展充実に	41.小児科医師・新生児科医師・児童精神科医師の確保と養成 Background: ・大学医学部においては、小児科学講座が一つしかなく、内科、外科に比べ臨床教育体制が不備であり、大学医学部での人材育成が困難である。 ・小児総合医療施設は、我が国の小児医療・小児保健で大きな役割を果たしているが、小児科医師・新生児科医師・児童精神科医師の育成においては、専門化しているために十分な役割を果たしてきたとは言い難い。 ・近年、多くの小児総合医療施設が小児救急医療部門を開設し、小児のプライマリケアの実地教育が可能となってきた。 ・しかし、平成16年度から実施される新しい卒後臨床研修制度においては、小児科研修における小児総合医療施設の位置づけは極めて曖昧であり、十分には活用されていない。 行動目標: 小児科医師養成のための教育体制の抜本的改革のあり方を提言する(ア) 小児科臨床教育体制の不備を、調査研究により明確にする。 (イ) 小児総合医療施設を大学医学部における卒前・卒後小児科教育のフィールドとして位置づけ、小児総合医療施設のスタッフの教育資格の明確化を図る。
54. 日本新生児学会		(1)第38回日本新生児学会学術集会を平成14年7月14-6日に神戸国際会議場において開催した。教育講演: 周産期医療とIT、先天性心疾患外科治療の現状 - 特に緊急手術を要する新生児例について、招待講演: Quality control of neonatal medicine (2)新生児科医、小児科医の減少の対策および、減少に対応した新生児救急医療システムの維持、向上をはかるための環境整備について、学会内の委員会で検討した。	第39回日本新生児学会学術集会 平成15年7月13-5日、福島県郡山市 シンポジウム4. 重症障害新生児医療のガイドラインを巡って 41. 新生児科医、産科医及び小児科医の不足の対策と減少に対応した産科・新生児救急医療システムの維持、向上をはかるための環境整備について検討をし、提言する

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
56. 日本小児神経学会	43. 身体障害者療育支援	<p>小児神経学会の「国内渉外委員会」を「社会活動・広報委員会」へと発展的に改組し、次の3つのグループにわけ小児保健水準の維持・向上に寄与することとし、2年目を迎え下記の項目につき活動した。</p> <p>1) 身体障害者療育支援グループ: 主として障害児教育分野に取り組んだ。 10月21日、学校における「医療的ケア」への見解と提言をまとめ、要望書を厚生労働省、文部科学省に提出した。</p> <p>2) 身体障害者に対する研究支援グループ: 障害児に関する研究を学会が支援。</p> <p>3) 知的障害児を中心とした療育支援グループ: 障害医学的知識の啓蒙、教育との連携を推進。 第44回日本小児神経学会総会のメインテーマを「子どもの脳とこころを科学する」とし、不登校、心身症、ADHDなど、子どもの心に関する問題についても、研究発表を行い、公開シンポジウム「ADHD わかれば見える子の心、わかれ</p>	<p>平成13年度に発足した社会活動・広報委員会の3グループのリーダー、メンバーを決定したので、実際の行動を開始した。今年も3つのテーマにつき活動を推進する。</p> <p>1) 身体障害者療育支援グループについては、全国8つのブロックにそれぞれの代表者を置き、地域と連携の濃い療育支援を行う。</p> <p>2) 身体障害者に対する研究支援グループ、3) 知的障害児を中心とした療育支援グループについては、研究会(シンポジウムなど)、研修会を開催し、学会と社会との連携を深める。 第45回日本小児神経学会総会において、公開シンポジウム「教育と医療の連携?小児神経科医が果たすべき役割」を開催予定。</p>
58. 全国病児保育協議会	病気のこどもの家庭での看護保育の実践	<p>施設長研修会 分科会のテーマを「形態別のQ&A」とし、医療機関併設型、乳児院・保育園型・派遣型・その他と形態別に分かれて話し合う。 職員研修会基礎 セミナー「総論・看護師のための保育知識・保育士のための看護知識」 シンポジウム「病児保育の食事」 分科会「自由演題」「病児保育の地域交流」「病児保育のリスクマネジメント」「保育所型病児保育所の課題」「行政とのかかわり 補助金を中心として」 その他 病児保育を知ってもらうための広報活動</p>	<p>施設長・職員研修会 病(後)児保育室自己評価基準全国調査報告 全国病児保育室実態調査中間報告 基礎セミナー「看護師のための保育知識・保育士のための看護知識」 分科会「なんでも相談Q&A」「厨房衛生管理規定」「病児のための遊びの提供」「インシデントレポート」 その他 病児保育を知ってもらうための広報活動 病児保育のポスターを作製し、掲示してもらう 過去のメール、掲示板の内容を整理し、病児保育に関するQ&Aをまとめる</p>
60. 日本外来小児科学会		<p>1. リーフレット作成委員会より、リーフレットの作成と配布(資料参照) 2. おたふくかぜワクチン、インフルエンザワクチンについて臨床研究を 展開中 3. 診療ガイドライン作成検討会の設立 4. 園・学校保健勉強会の開催 5. 電子カルテ検討会の開催 6. 事故予防検討会の設立 7. 会員からのアドボカシー活動を集め、学会としてアドボカシーを展開 (現在は、麻疹の予防接種無料化の活</p>	<p>上記の1-7について、継続して取り組み、その結果を文書、論文、冊子、本の形で公表していく。</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
62. 日本小児期外科系関連学会協議会	39.41.	1. 小児医療、なかんずく小児の外科的医療の診療報酬改定について、厚生労働省保険局医療課へ適正な改正要望を行った。 2. 協議会全体会議を7月22日(月)開催した。 3. 小児医療環境整備のため、日本小児総合医療施設協議会とともに、2002年度診療報酬改定要望書を作成して厚生労働省へ提出した。	1. 協議会全体会議を開催する。 2. 日本小児総合医療施設協議会とともに、2003年度診療報酬改定要望書を作成する。 3. 小児期外科系関連学会・研究会の当協議会への参画を呼びかける。 4. 課題3グループの行動目標である「麻疹予防接種率の向上」への取り組みを参加各団体に呼びかけ
66. 日本小児循環器学会		1. 小児の心臓移植に対するガイドンスを作成。第39回小児循環器学会で公表した。当日、マスコミに対する共同記者会見を行った。 このガイドンスは、どのような症例が移植の適応になるかを示したものである。 2. 学校心臓検診の推進と、精度の向上につとめている。昨年、学校生活管理指導表が学校保健会で作成された。これの普及につとめている。さらに、心臓検診に使われている調査表の改定を行う予定である。	1. 小児の心疾患に対する予防接種のガイドラインを作成。小児科学会へ報告。 2. 突然死をきたす可能性があるQT延長症候群の特徴を検討している。 3. 生活習慣病の小児期からの予防について研究委員会の立ち上げを計画している。
69. 全国母子保健推進員連絡協議会	27.28.44.45.55.58.62.	1 第2回母子保健推進員全国大会の開催 平成14年11月15日(金)佐賀市文化会館において本会議、佐賀県、佐賀市、全国母子保健推進員連絡協議会の主催、厚生労働省他20団体の後援により1,100名の母子保健推進員及び関係者を集め、開催した。 行政説明:国民運動「健やか親子21」の推進を厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 課長 谷口隆 思春期教育劇:「未来へ」 沖縄市母子保健推進員「ひまわり会」 シンポジウム:「母子保健推進員協議会活動の現状と展望」 司会:(社)母子保健推進会議常務理事 原澤 勇 アドバイザー:NPO法人全国市町村保健活動協議会常任理事 大坂 多恵子 講師:山口県母子保健推進協議会会長 林 タカ枝 富山県母子保健推進員連絡協議会 轡田 民子 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会会長 狭間 歌子 長野県保健補導員会等連絡協議会会長 田中 晃子 佐賀県母子保健推進協議会会長 古賀 裕子 2 全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会の開催 日 時:平成14年11月14日(木) 17:15~19:00 会 場:佐賀市文化会館 内 容:母子保健推進員活動報告 出席者:46名(各県母子保健担当者、母子保健推進員および関係者)	2.3.9.14.18.27.28.29.44.45.46.55.58.62. 1 社団法人母子保健推進会議会長表彰の実施 富山県富山市で開催される「母子保健家族計画全国大会」において地域の母子保健活動に従事され功績を挙げられた地域組織や個人に対して(社)母子保健推進会議会長表彰を行う。 2 第3回母子保健推進員全国大会の開催 開催日:平成15年11月7日(金) 会 場:富山県民会館 3 母子保健推進員教育事業 母子保健推進員研修会の開催 4 本会議機関紙「母推さん」の刊行 「母推さん - 母子保健推進員だより -」(タブロイド判)を毎月1日(104~115)発行し、都道府県・保健所・市町村および母子保健推進員協議会等関係機関に配布する。 5 母子保健に対する知識の普及啓発活動 10月を「母子保健強調月間」とし、厚生労働省の後援、(社)日本産婦人科医会など、会員団体の協力を得て次の事業を行う。 妊産婦、乳幼児の健康診査受診勧奨ポスターの制作配布 〔表 題〕「ママと赤ちゃんの健康チェック」 支えよう21世紀の健やか親子・健診を忘れずに受けましょう 働く女性・事業主の皆さん「母健連絡カード」を利用しましょう

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>3 母子保健推進員研修会の開催 市町村母子保健事業促進と母子保健推進員の資質向上をはかるため、母子保健担当者及び母子保健推進員を対象に、厚生労働省の後援により次の各県で研修会を開催した。 主な研修会の内容は、 1) 母子保健推進員活動報告 2) こどもの事故防止 3) 乳児期の歯科保健 4) 子育て支援 5) 歯科保健 6) 子どもの虐待 7) ドメスティック・バイオレンスと女性の人権 8) 思春期保健 4 都道府県母子保健推進員協議会の組織育成事業 母子保健推進員の育成と全国的な組織活動を支援する都道府県母子保健推進員協議会に対して育成費の助成を行った。 富山県母子保健推進員連絡協議会 長野県保健補導員会等連絡協議会 新潟県母子保健推進協議会 和歌山県母と子の健康づくり運動協議会 山口県母子保健推進協議会 佐賀県母子保健推進協議会 5 本会議機関紙「母推さん」の刊行 母子保健推進員を対象として、機関紙「母推さん」- 母子保健推進員だより - (タブロイド判)を毎月発行し、全国の都道府県保健所・市町村母子保健関係者及び母子保健推進員等に配布した。92号～103号 6 母子歯科保健知識の普及運動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者に対する歯科保健教育研修会の実施 市町村母子保健対策の一環として母と子の歯科保健知識の普及をはかるため、歯科保健教育研修会を育児教育と</p>	<p>6 母子歯科保健知識の普及活動 (1) 母子保健推進員、保健師、学校関係者の歯科保健教育研修会の開催 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 [表 題] ダブルファイル「キシリトールでむし歯予防」「歯ブラシはこまめに替えよう」 (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県及び三重県歯科医師会より委託を受け制作・配布する。 (4) 母子歯科保健教材セットの配布事業 (5) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 (6) 歯科保健指導用パネル制作配布 7 妊婦等禁煙運動の推進 (1) ポスターの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (2) リーフレットの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 (3) クリアファイルの制作配布 [表 題] 「ママ、パパ、タバコすわないで」 タバコの吸いすぎは、早産・低体重児の誘因になります。 8 子どもの事故防止推進事業 9 児童虐待防止のための母子保健推進活動支援、研修、パンフレット配布</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		主な内容は、 1) 口腔清掃 2) 歯周病の原因と予防 3) 摂食機能の発達について 4) 歯科臨床の現場から 5) 噛み合わせと歯の健康 6) 歯科矯正 開催県：鳥取県、新潟県、青森県、山口県、富山県、岐阜県、佐賀県、長野県、鹿児島県、沖縄県、茨城県 (2) 歯科保健に関するテキストの制作配布 [表 題] 「乳幼児歯科保健指導のポイント」(歯科保健指導者のために) [制作数] 1,600部 [配布先] 歯科研修会開催県及び参加者(専門職) (3) 歯科保健パンフレットの委託制作 愛知県の委託、愛知県歯科医師会の指導により制作配布。 [表 題] 「歯のパスポート」守ってあげてね！お子様の歯！こんにちは！6歯臼歯 [制作数] 81,000部 [配布先] 愛知県市町村及び歯科医師会 (4) 歯科保健に関するリーフレットの制作配布 [表 題] 「おかあさんといっしょに よい歯で よくかむよい子ども」 [制作数] 750,000部 [配布先] 全国保健センター、各県研修会場 (5) 歯科保健指導用パネル制作配布 [表 題] 歯科保健指導用パネル [指 導] (社)日本歯科医師会 [制作数] 725枚	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		(6) 母子歯科保健教材セットの配布 〔対 象〕 1.6歳児または3歳児 〔実施方法〕 保健所、市町村保健センター等の歯科健康診査及び歯みがき教室の実施日に教材を配布し、歯科保健知識の普及を図った。 〔配布教材〕 1.6歳児用歯ブラシとリーフレット、3歳児用歯ブラシとリーフレット 〔配布数〕 559,750セット 〔配布先〕 県(市)主管課または保健所 7 妊婦等禁煙運動の推進 (1) 妊婦の喫煙による弊害を訴えるポスターを制作し、都道府県、政令市、中核市、病産院等に配布し、啓発普及を行った。 1) ポスターの制作配布 〔表 題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 〔協 賛〕 明治乳業株式会社 〔後 援〕 社団法人 日本産婦人科医会 〔制作数〕 20,000枚 〔配布先〕 都道府県、政令市、病産院、関係諸団体等 2) リーフレットの制作配布 〔表 題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕 86,000部 〔配布先〕 都道府県、関係諸団体等 3) クリアファイルの制作配布 〔表 題〕 「ママ、パパ、タバコすわないで」 - タバコは早産・低体重児の誘因になります - 〔制作数〕 15,000枚 〔配布先〕 研修会開催県及び参加者等	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		<p>8 子どもの事故防止推進事業 子どもの事故防止のための研修会を開催するとともに事故の調査を行った。また教材の制作を行い広く活用を図った。</p> <p>(1) 研修会の開催 鹿児島県 平成14年10月16日(水) 沖縄県 平成15年1月23日(木)</p> <p>(2) 誤飲防止の教材として「誤飲チェッカー」の開発を行い、研修会及び一般マスコミを通して頒布活動を行った。</p> <p>9 子どもの虐待防止推進事業 「児童虐待防止のための地域支援事業」として日本財団より助成を受け研修会の開催ならびに「テキスト」「リーフレット」を制作し広く活用を図った。</p> <p>(1) 研修会 延参加者数 1,288名 群馬県 平成14年 6月24日(月) 前橋市民文化会館 421名 熊本県 平成14年10月10日(木) メルパルク熊本 300名 大阪府 平成14年11月19日(火) ドーンセンター 270名 広島県 平成14年11月27日(水) 広島県健康福祉センター 147名 長野県 平成14年11月28日(木) 長野県自治会館 150名</p> <p>(2) テキストとリーフレットを上記5県並びに本会関連事業として子ども虐待研修を実施した北海道、茨城県において配布し、有効活用を図った。 テキスト... 「母推ノート」- 子ども虐待防止のためのサポート - 13,000部 規格: A5版、80頁、4色刷 著者: 佐藤 拓代 小児科医、大阪府児童虐待研究会世話人</p>	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
 -小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
69. 全国母子保健推進員連絡協議会		10 第14回手づくり健康教育媒体コンテストの開催 本会議、(社)日本家族計画協会、(財)予防医学事業中央会の共催、厚生労働省、東京都、(財)保健会館、健康保険組合連合会、(財)健康・体力づくり事業財団、(社)全国保健センター連合会の後援により全国の行政や健康保険組合などで独自に制作、活用している手づくり教材を募集し、全国より63件の応募があった。さらに、他の模範となるよう表彰し、その成果を広く周知した。 厚生労働大臣賞 1席 沖縄県沖縄市母子保健推進員ひまわり会 パネル「事故予防パネル」 模型「事故予防ミニチュアハウス『危ない家』」 優秀賞 3席 北海道札幌市中央保健センター パネルシアター「いのち・からだのおはなし」 千葉県四街道市立学校栄養士会 模型「野菜人形」 新潟県市町村栄養士協議会上越支部 パンフレット「元気いきいきチェック表」 佳作賞 48席 北海道渡島保健所ほか47席 パワーポイントスライドショー「介護認定審査会委員研修用スライド」 奨励賞 11席 千葉県夷隅郡市学校栄養士会ほか10席 エブロンシアター「三色の栄養エブロン」	

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
74.健康日本21推進フォーラム	60.栄養・食生活の改善	<p>*「健康日本21リーフレット」栄養・食生活シリーズの作成 目的：健康日本21地方計画の実施に際して、全国の栄養士、都道府県および市町村が住民啓発用に配布、活用できる栄養指導媒体の制作 企画・編集・発行：社団法人日本栄養士会 制作協力：健康日本21推進フォーラム 協賛：健康日本21推進フォーラム会員社 発売元：株式会社法研配布 対象先：47都道府県栄養士会、47都道府県担当部署 配布部数：18万部（初回無償配布） 初回分以降は頻布、1部30円 効果、その他：平成13年10月のNo.1の発行以来、現在までNo.12までシリーズとして発行されており、全国の栄養指導現場で活用されている。初回配布以後の頻布分でも、全国の各 市町村などからNo.1～No.12までの累計で20万部が販売されて活用されている。</p>	<p>健康日本21推進フォーラムは、「健康日本21」を産業界から支援する目的で、1999年11月17日に設立された任意団体であり、62の企業・団体（2003年3月現在）が参加して活動を行っています。平成15年度より、「健康日本21」のみならず「健やか親子21」への支援も活動目的に付加し、本年度より取り組みを開始する予定です。 平成15年度の活動目標 1) 科学的根拠に基づいた健康情報の発信 2) 健康日本21推進全国連絡協議会及び健やか親子21推進協議会加盟団体との連携強化 3) 地方計画（都道府県・市町村計画）への支援活動 4) 会員社・団体による広報・広告活動の推進 本年度は、まず「健やか親子21」への認知・理解を深めて、企業・団体の立場からどのような支援が行えるかを模索していくことが活動の中心になります。予定されている活動は、下記です。 * 第三回会員総会（5/14）での特別講演「健やか親子21について」講演者：平山宗宏先生（健康日本21推進フォーラム理事に就任予定） * 健康日本21推進フォーラム講演会（年4回開催）「健やか親子21」に関連した講演を開催予定（時期、内容未定） * 自主研究会会員社による自主研究会活動において、「健やか親子21研究会」を設置する予定。 * 健やか親子21推進協議会との連携施策自主研究会などを通じて、どのような連携施策ができるかを検討していく予定。 * ホームページを活用した情報発信フォーラムのHPコンテンツの中に、「健やか親子21」に関連した</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
75.(財)母子健康協会	小児医学研究助成	<p>1. 小児医学研究助成 趣旨:小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日:平成14年11月1日 件数:12件 総額:1325万円 研究期間:平成14年11月～平成15年10月 対象課題:小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者:大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。</p> <p>2. 小児医学研究助成報告書の発行 趣旨:助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ、全国の主要な大学研究機関に贈呈し、情報提供を行う。 報告書:平成12年度医学研究報告書 12件 B5版 40頁 発刊月日:平成14年5月31日 部数:300部</p>	<p>1. 小児医学研究助成 趣旨:小児医学研究分野における研究を推進し、小児医学の進歩に寄与することを目的とする。 助成月日:平成15年11月 件数:約12件 総額:1300万円 研究期間:平成15年11月～平成16年10月 対象課題:小児医学に関連する研究で小児の増進、疾病の予防と治療に役立ち得るものとする。 対象者:大学、研究所、病院に所属する小児医学分野の研究に従事する50歳未満の研究者とする。</p> <p>2. 小児医学研究助成報告書の発行 趣旨:助成した小児医学研究の成果を小冊子にまとめ、全国の主要な大学研究機関に贈呈し、情報提供を行う。 報告書:平成13年度医学研究報告書 12件 B5版 約40頁 発刊月日:平成15年5月31日</p>

健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題3）
-小児保健医療水準の維持・向上させるための環境整備-

団体名	課題に対する団体としての14年度の取り組み	14年度の取り組み実績	15年度の取り組み行動計画
75.(財)母子健康協会	保育園・幼稚園の先生への啓蒙	<p>シンポジウム開催 趣旨:保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを年1回東京地区で開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時:平成15年1月17日14時～17時 場所:アルカデア市ヶ谷 東京都千代田区 テーマ:「保育と予防接種」保育の集団生活における子どもたちの健康を守るため、予防接種は重要な役割を果たしているが、予防接種対象疾患の減少に伴い予防接種に対する認識・必要性が薄れ、健康被害のみが強調されている。その結果、予防接種をしていない子どもが増え、諸問題が発生している。そこで予防接種について、正しい認識と諸問題の解決策について専門講師の講演と質問を中心に話し合う。 講師:前川喜平(東京慈恵会医科大学名誉教授) 平山宗宏(日本子ども家庭総合研究所所長) 岡部信彦(国立感染症研究所感染症情報センター所長) 受講者:126名(都内保育園・幼稚園の先生)</p> <p>機関誌「ふたば」発行 趣旨:保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日:平成14年11月1日 発行部数:14,000部 贈呈先:全国の主要な保育園・幼稚園 内容 B6版 68頁 特集 「収穫の歡びに満ちた園」秋川あすなろ保育園紹介 寄稿 「子どもの出血 - 出血に潜む血液病 - 」 奈良県立医科大学小児科教授 吉岡 章 シンポジウム:「心が育つ保育」</p>	<p>1.シンポジウム開催 趣旨:保育園・幼稚園の先生方を対象したシンポジウムを年1回東京地区で開催し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。シンポジウム内容は、機関誌「ふたば」に収録し、広く情報提供する。 開催日時:平成16年1月 場所:東京都内 テーマ:「ことばと発達」予定 ことばの発達は個人差があり教育現場で混乱が生じ、保育園・幼稚園の先生方の悩みとなっている。そこでことばの発達について、正しい認識と諸問題の解決策について専門講師の講演と質問を中心に話し合う。 講師:前川喜平(東京慈恵会医科大学名誉教授)他2名(未定) 受講者:定員150名(都内保育園・幼稚園の先生対象)</p> <p>2.機関誌「ふたば」発行 趣旨:保育園・幼稚園の先生方を対象した機関誌「ふたば」を発行し、小児医学・教育に関する啓蒙を行う。 発行月日:平成15年11月 発行部数:14,000部 贈呈先:全国の主要な保育園・幼稚園 内容:B6版 約70頁 編集内容は未定</p>